



八 剣 山 通 信

第 2 5 号

八 剣 山 発 見 隊

2004年 5 月 2 4 日 発行

5月23日(日)

「アイヌ文化にふれ 体験しよう」を実施しました。

【行事の概要】

私たちの生活する北海道では、アイヌ文化とは切っても切れない歴史的なつながりがあり、特に地域の名称については、アイヌ語に由来する場所がかなり多く見られます。しかし、私たちの生活の中でほとんどアイヌの文化に触れる機会はなく、アイヌの人々と交流する機会も、ほとんどありません。

そのような中で昨年の12月、小金湯温泉にアイヌの民族衣装や生活用品などの展示品に、直接触れて体験することを目的とした「札幌市アイヌ文化交流センター」(サッポロピリカコタン)がオープンしました。

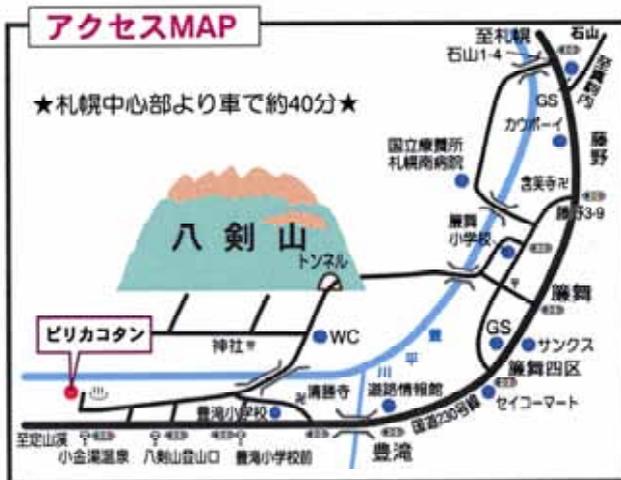
今回は、ここにあるチセを会場としてアイヌの人々と交流をすることにより、アイヌのすばらしい文化の一端に直接触れることにより、アイヌ文化を少しでも理解していただこうと、次のとおり企画したところです。

- ・ 地名と神謡(ユカラ)についての講演と交流
- ・ アイヌ料理の講習と交流食会
- ・ ウポポ(歌)リムセ(踊り)と民族楽器体験
- ・ ムックリ制作またはメノコイナウ制作体験

私たちの生活文化のすぐそばに、私たちの知らないすばらしい文化があることを再発見できると思います。

- ・ 主 催 : 八剣山発見隊
- ・ 協 力 : ウタリ協会 札幌支部

【今回の行事実施場所】



果物を育てる作業体験者を募集しています(ボランティア)。
 6月: りんごの腐乱病削り、ブドウ棚づくり、畑の草取り
 砥山ふれあい果樹園(瀬戸修一) & FAX 011-596-2694

【行事の感想】

チセの中のいりりでは、お昼の料理のために火が焚かれ、その煙が漂う中、沢井アクさんの講演を行いました。初めにアイヌ語の数の数え方を習い、その後にアイヌ語による地名の解説をしていただきました。特に、イシカリ、トヨヒラ、トヨタキ、トヤマなど、この地域の地名についてもアイヌ語から来ていることと、その由来については詳しく解説していただきました。

お昼は、アイヌ料理としてギョウジャンニクやフキなどがたっぷり入ったオハウ・キナ(汁の草)や儀式的の時に用意するコンプシト(昆布団子) 1週間前に仕込んだサカエ(酒を醸すお粥)を高橋英子さんと小川早苗さんをはじめ、アイヌの皆さんが用意してくださいました。特にオハウ・キナは、春の山菜がたっぷり入って大変おいしかった。

昼食後は、ウポポ(座り歌)とリムセ(踊り)についてアイヌの皆さんが模範演技を行ったあとで、参加者全員がアイヌの衣装を着て、講師の音頭で歌ったり輪になって踊るなど、楽しい時間を過ごしました。

また、アイヌ民族の楽器であるムックリや女性の首飾りであるメノコイナウを、2班に分かれて制作しました。



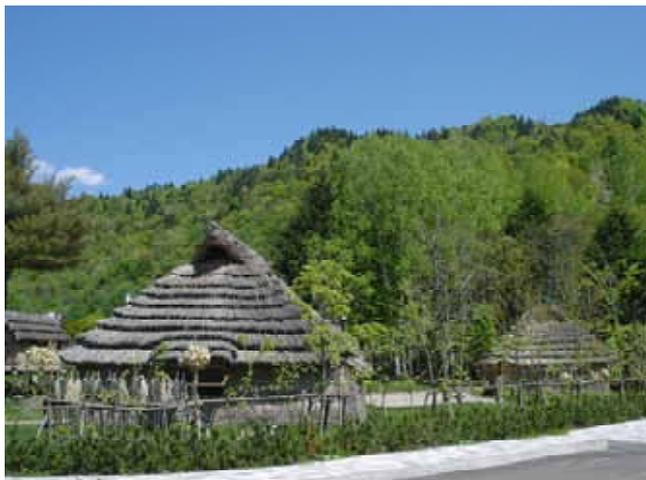
【アイヌの皆さんと参加者との記念撮影】

【今後の行事予定】

- ・ 6月 6日 探鳥会と豊平川河畔清掃&八剣山清掃登山
- ・ 7月11日 八剣山さくらんぼまつり

発行: 八剣山発見隊事務局(事務局長 山澤 敬)
 061-2274 札幌市南区小金湯510番地
 011-596-2920 FAX 011-596-2920
<http://sapporo.cool.ne.jp/hakkentai/>

5月23日 アイヌ文化にふれ 体験しよう



【 ピリカコタンのチセ 】



【 沢井アクさんの講演 】



【 参加者と団子づくり 】



【 左からコンプシト、サカエ、オハウ・キナ 】



【 リムセの模範演技 】



【 アイヌの楽器ムックリ制作 】

